

# FLORE21 ホットニュース

夏の期間の唯一の「モノ日」お盆が近づいています。  
今年の花の出荷はどうなんでしょうか？  
暑さの影響がどのくらいでているのでしょうか？  
この猛暑の日本列島。お墓参りに出かけるのでしょうか？  
鉢物の市場は相変わらず異常な安値が続いています。  
週明けから1週間、「モノ日」らしい「モノ日」になってくれることを祈るばかりです。

今週のホットニュースは、

○大田店 旬の草花いろいろ

○世田谷店 こちらも「旬」 クルクマ 花言葉は「忍耐」

○葛西店 無計画北海道旅行の充実レポート

○板橋店 命がけでした。福島ドウダンツツシ収穫紀行

○会長小池のコラム(過去記事) 何としても避けたい「三方一両損から四方八方損」

以上の4+1 レポートです。それでは、どうぞご覧ください

## OFLOの部屋

夏真っ盛りです。旬の草花を。

「エムリス・アイシーブルー」。

穂と葉が目細めるほど美しいシルバーブルー色です。穂が茶色くなって来ると夏の終わりを予告。

「ユウゼンギク」。

エモエモのエモです。

「タムラソウ」。

一気に心は草原へといざないます。

「金水引」。

軽やかに可愛い。好きなんだけど地味すぎかなあ。



「ルドベキア・プレーリーグロー」。

可愛いですねーほんと。秋が深まるとさらに色がたまらなくなってきました。

「姫ひまわり・華姫」。

ただの姫ひまわりと言わないで～。

「レースフラワー・パープルキス」。

優しいですね。何もかも。

「NCTペンライト」

草鈍器といわれるペンラです。



まだ暑い日が続きますが、元気で市場にいらっしゃってください！ ではまた  
大田店・小林

**世田谷店おすすめ**

『クルクマ』

今回とり上げるのは、夏の定番花材クルクマです。

まずクルクマの花言葉、いくつかあるようですがその中に「忍耐」がありました。この異常なほどの気温をたたき出している暑い夏に、耐え忍びつつ季節を彩ってくれる、大切な花材です。

小輪のものから大輪のもの、花の咲き方などなど様々な品種があります。

いくつか紹介していきたいと思います。

### 【JA 糸島】

糸島は日本有数のクルクマ産地の一つです。糸島の温暖な気候がクルクマの栽培に適しており、現在 40 種以上のクルクマが生産されています。

存在感のあるサイアムシリーズから人気の小リン系まで幅広いラインナップと安定の品質の高さです。



ルプリエラムール / サイアムシルク / パルビフローラ



サイアムシトロン / トマト / オールドローズ

### 【南さつま農協】

鹿児島県の川辺町で栽培されているクルクマの中でインプレッシブはひと際目を引

きます。  
輪は大きく肉厚の苞が特徴です。

苞とは、一見花卉のように見える部分で、苞がシッカリしている方が、もちがいいように感じます。



### 【JA とびあ浜松】

JA とびあ浜松では、収穫を朝 8 時までとし、鮮度処理剤をつかって、日持ち向上に努めています。

特に注目の品種はメージョーピンクインプです。

何とも言えないピンク色のニュアンスカラー、これもまた大輪系の品種で、一本でも存在感大です。



メージョーインプピンク / パールピンク

### 【長崎花き園芸農協共同組合】

地方卸売市場長崎花市場の長崎花き園芸農協共同組合から出荷されているクルクマが、またいいのです。

特に推しなのは、メーテンサンライズ

苞がシッカリと開き、かつバリバリで、ぱっと見の印象は、少し大きくなったパールビフローラなのですが、大変大きさがちょうどよく、使い易い品種だと思います。





またメージョーニューピンクの優しい淡  
ピンクといったらたまりません。



チョコゼブラ



### 【あいち中央 碧南園芸】

1992年にクルクマ生産開始、現在は9名ほどで部会としてはそれほど大きくはありません。

しかし、栽培品種は中大輪が中心で、ピンクの中輪系のメーテンNO.1は苞もパリッとしていて、ブラウンとの複色が、とても魅力的です。





ピンクパールは大輪系で、蓮の花のような苞と優しいピンクが素敵です。

また葉っぱがとても綺麗な品種です。

以上、まだまだ沢山の産地さんと、品種があるのですが、引き続き仕入れを通して、皆様におすすめできるクルクマ達と出会い、また皆様にご紹介していきたいと思います。

世田谷店 森田

## 仕入れの素★葛西店

夏休みを利用して今年は

### 北海道へ

いってきましたー！

札幌の市場や仲卸さんを見たい！

あわよくば産地さんのところに行ってみたい！

と、思い立ったが吉日とばかりに、お付き合いのある秀芳生花さんをお願いして行っちゃいました！



札幌駅から始発のJRに乗って、午前6時半ごろに市場に到着。

場内仲卸の秀芳生花さんにご挨拶。

私は邪魔にならないように、何か変わった花がないかなーとウロウロ。

なんなら、花屋さんとおしゃべり出来たらいいなあと思っていましたが、借りてきた猫の如く、すみっこでいい子にしてみました^^



札幌市場には2つの市場があり、札幌花き園芸とはまなす花きがあります。

大田市場でいうところの大田花きとFAJですね。

セリは手ぜりです。

この日は雨模様とお盆仕入れ前の週とあってかお客さんは少なく、その分セリ荷物は多めでしたー>\_<

花は私たちが北海道の花を仕入れる位ですから、ほぼ同じラインナップ。その中でも気になったものを少しご紹介。



北の純情倶楽部 堀田さん



→こちら 160 cm !!



クレマチスはもう終了。  
ペチュニアももうぼちぼち。

次はトルコキキョウ。  
だそうです。



月形 ノザキさん  
ヒペリカム キャンディーレモン

JA しんしのつ・カスミ草  
キャンディダブル→



左：アルタイル

AM10 時頃に秀芳生花さんを後に、次は今話題の **saku.to&co** ハナ咲く未来のコミュニティ、サクトコさんへ！



少しですが勝手にお手伝いさせていただきました♪  
仕分けや水揚げ、接客など。やっぱりたのしー♪



最終日は、サクトコスタッフ、「皆を照らす太陽でありたい現場監督」りっちゃんこと横関梨沙さんの案内で産地見学させていただきました！！（本当に感謝！！）



↑ 2m以上あるテッセン



雲海のようなクレマチシード→





←テッセンシード

ニュアンスカラーなエキナセア発見！と思ったら、アメリカの終わりかけの色だって。残念・・・



種をとる用のフロックス

(また来年・・・)

北の純情倶楽部 堀田さん

リバーラブ





ダブルダイヤモンド



ミステリードリーム



ジャクソンビル (これ良かった！)



JA しんしのつ 窪田さん



セダムいろいろ



←ダウカス

↓ヒペリカム



ダウカスシード↑

JA 月形 大江さん



お盆も彼岸もまだですが、  
かぼちゃは出番を待ってました！！

東京と変わらない湿度と暑さだった北海道。

当然、お花たちもぐんぐん育って、8月お盆用にと進めていたカーネーションや、ユリがもう切り終わってしまったという生産者もチラホラでした。

7割8割、無計画だった北海道旅行。

秀芳生花さん、サクトコさんの計らいで見事なまでに充実した旅となりました！

急な訪問も快く受けてくださった生産者さんにも感謝です！（←さすがりっちゃん！）

本当にありがとうございました！

十分な充電ができた私は、

**このまま年末まで頑張れます！！**



葛西店 鈴木

# 【驚き!!】の提案 板橋店

みなさん、こんにちは！板橋店の河本です🌻

猛暑続きで人も花もなかなか苦しい時期ではありますが、水分・塩分おまけに糖分もしっかりとってこの夏をのりこえていきたいものです…。

さて！今回のホットニュースのテーマは…

枝物の中でも大人気の “ドウダンツツジ”

7/21(金)・22(土)に福島県郡山市湖南町に行ってまいりました。

湖南町のすぐ上には日本国内の中で4番目に広い湖“猪苗代湖”があります。

その猪苗代湖の近くの山でドウダンツツジをきり、出荷されているのが

渡辺良子さん。※顔写真はNGよ〜！と、シャイな良子さん😊

今回は良子さんと、お弟子さんのノリコさんと一緒に山に入りドウダンツツジを実際に切らせていただきました！

その様子をぜひ皆さんにもご覧いただきたいと思います📷



飲み物食べ物をしこたま買いこんでいざ良子さんの山へ。

麦茶やスポーツドリンクなど500mlのペットボトルを一人3〜5本分は持っていきました。

ほんとにこんなに飲むの…？

と半信半疑でしたが、このあとの私は山をなめていたと実感します。

ガードレールをまたぎこの茂みのなかへ入っていきます。

どこから入るの…？

というかここは人が入れるの…？

って思いますよね。





入ってすぐは平たんだし、山道っぽくなっているところもありました。

こんな花を発見。

### ギンリョウソウ

別名コウレイダケ

腐生植物なんだそう。

えー！なにこれ可愛い！



と思ったのも束の間、

良子さん「これはゴキブリが菌を運んでできるんだよ～」と。 そわ…



山の中に入って3分の1くらい進んだところに沢がありました。透明感抜群。

冷たくて気持ちよくて、まさにオアシス



切ったドウダンを常に持ち運ぶのは大変なので、沢につけて順番に運びます。



だんだん険しくなってきました。  
よじ登るとい言葉がまさにぴったり。

全身使って太めの枝やつかまれるものを支えに  
登っていきます。

道はもちろんありません。



そして突然現れるドウダンの群れ！

写真では伝わりにくいかもしれませんが、あ  
る程度登っていくと、ドウダンが密集して生  
えているところに出会えました。もちろんす  
べて自生しているものです。

ただ、日差し・風・湿度によって状態が異なるので、葉が大きいものばかりだったり、  
日に当たりすぎて葉先が少し焼けてしまっていたり、欲しいドウダン(注文にあったド  
ウダン)を探すのがなにより一番大変とのこと。

長さは、メジャーを伸ばして測ってから切るわけにもいかないなので、目測で。

長年の経験のなせるわざですね…！



目当てのドウダンを見つけたら切る！

写真を見ていただいてわかる通り、斜面になってい  
ます。

切る場所も平たんなところばかりではないですし、  
葉が地面や周りの木にすれて傷つかないように注意  
しなければなりません。

←大田店の工藤さん、職人さんみたい…！

何本かその場でまとめて切ってから平坦な場所まで運んで束にしていきます。

足元をそろえて下から上まで3箇所ほど結わえていきます。

長くボリュームがあるものは写真の右のように麻布を使ってカバーします。



**で…できた…!**

結わえたら沢でくんでいた水を  
足元にジャバジャバとかけていきます。  
2L ペットボトルを 10 本ほど  
リュックに1人 2~3 本つめて登りました。  
ハードなトレーニング以上にハード…🔥💧



そして、ある程度束がたまってきたら、車に積み込むために運んでいきます。

肩に担いで運んでいましたが、斜面を下りながら運ぶ時は、葉が地面にこすれて傷つかないように後ろを気にしなければなりません。

初心者の私はただでさえ、滑ってこけたり怪我をしたりしないようにと必死で、後ろの葉を意識して運ぶのはとても難しかったです。



5人がかりで切って結わえて運んで…を繰り返していき、今回の成果がこちら。♪

山に入って5時間

約120本のドウダンを作業場まで持ち帰りました。

青々とした美しいドウダン…！！今回は、

- ① 湿気があって岩に苔の生えている
- ② ほどよく風が吹く
- ③ 陽の光がやわらかく差し込む

このような場所に良いドウダンがありました。



出荷までの道のりがこんなにも大仕事だということ、身の危険が伴うこと(熊もでることがあるそう。)たくさんの苦労や積み重ねてきた技術を目の当たりにし、私もその片鱗に触れさせていただきました。



かなりの危険が伴いますが、良子さんは「山に入るはやっぱり楽しい！」ノリコさんも「今日、楽しかったね！」と、誰より何よりこの日々を楽しんでいらっしやることが素敵だな、素晴らしいなと感じました。

人それぞれ仕事に対するモチベーションは異なると思いますが、何事も楽しんで取り組んでいる人は輝いてみえます…！

良子さんはもちろん、産地さんたちの様々な努力・苦勞の結晶である花々を今まで以上に丁寧に扱い、多くの方に届けていきたいと改めて思いました！

以上、板橋店 コウモトでした🐼

## 会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

### 「三方一両損から四方八方損」(2018年08月10日号より)

50年この業界で仕事をさせていただいていますが、これほど花がないお盆に出会ったのは記憶にありません。

お盆の花の産地は秋田、岩手、福島、新潟、長野、群馬、栃木と順に下がってきて特に寒冷地を中心にお盆の花の供給を担っています。

しかし待てども待てどもその供給地から花が出てきません。産地に聞けば「畑にはまだ花が咲かない、蕾が色づかない花が畑に山ほどある」。

産地は切りたくとも切れない花が目の前にある。私たちにとっても市場にとっても、まして産地にとっても大きな損失です。

落語に「三方一両損」という噺があります。左官金太郎が3両拾い、落とし主の大工吉五郎に届けるが、吉五郎はいったん落とした以上、自分のものではないと受け取らない。

奉行に訴え、出てこられた大岡越前守は3両に1両足してして4両にして、2両ずつ両人に渡す。左官は拾った3両より1両減る、大工は落とした3両より1両減る。越前守は懐から1両減る、つまり三方一両損と言うわけです。

少々今回の花が咲いてこない「3方損」と仕掛けは違いますが生産者は需要期に出荷できない損、我々は異常な高値で買ってしまった損、市場は需要期に荷物を失い売り上げが立たなかった損。

それではなぜこのようなことが起こったのか、私は花のことで良くわからないこと

